

図2は実験結果である。投影の際、シリンダーのレンズ効果を除くため、ビーカーに水を入れその中に立てるとよい。

〔観察〕 ア) 洗ざい水溶液と水にそれぞれ油を入れた時の状態

イ) 5分振とう直後の油の動きの比較

ウ) 乳化の安定性の比較

- 水と油の分離の状態
- 脂肪球の大きさ
- 油の色

エ) 洗たくの場合に乳化作用が低かったらどうなるだろうか。

(ウ) 分散作用

〔材料〕 綿ブロード、カーボンブラック、洗ざい水溶液(ア)に同じ200cc、水

〔用具〕 マグミックス・スターラー、スターラーピース（ガラス棒でかくはんしても結構です。）ビーカー300cc 2ケ

〔方法〕 ア) 洗ざい水溶液および水を200ccずつビーカーに入れる。

イ) カーボンブラックを液の0.1%添加し、スターラーで1分かくはんする。

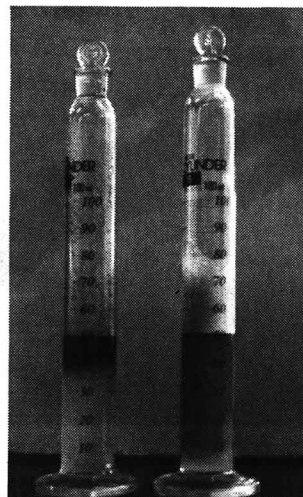
OHP実験投影装置 図1の②試料台の上にカーボンブラックを入れかくはんしたビーカーをのせる。

投影の際、ビーカーのレンズ効果を除くため、これより大きいビーカーに水を入れ、その中に立てる。

〔観察〕 ア) カーボンブラックの分散状態を観察する。

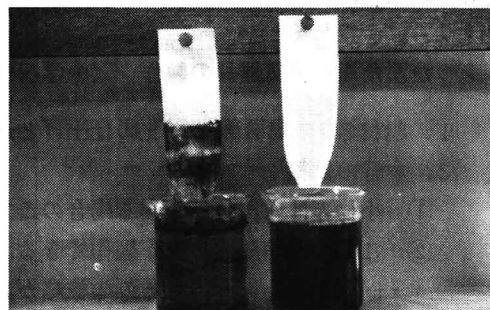
イ) これに綿布を浸漬してカーボンブラックの布への付着のされ易さをしらべてみましょう。これは投影によらず示範した結果を直接見せる。

③ 洗たくにより繊維から汚れが落ちる過程をTP 2で観察する。



水 洗ざい水溶液

図2 乳化作用



水 洗ざい水溶液

図3 分散作用